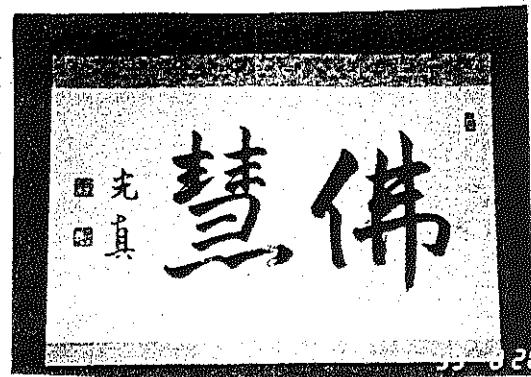


# 勝林寺寺報



## 仏慧功德をほめて

蓮如上人ものが

平成十年におつとまりになる蓮如上人五百回遠忌法要へのご懇志を、はやはやと完納した勝林寺門徒に対し、即如ご門主さまから下付賜った扁額『仏慧』です。

親鸞聖人は、四八首の『讃阿弥陀仏偈和讃』(阿弥陀さまとお淨土を譽め讀えたう)の最後に、  
仏慧功德をほめしめて

十方の有縁にきかしめん  
信心すでにえんひとは

つねに仏恩報ずべし  
「如來さまのお慈悲にめざめ、信心の人となつたからには、つねづね、如來様の智慧慈悲のおはたらき(仏慧功德)を褒めたえて、世界の子や孫、縁あるひとびとに聞かせてあげたい。それが如來さまのご恩にむくいるということなのだ」と、うたわれました。

琵琶湖の東側一帯の農民の統率者である金森の道西(善徳)は、蓮如さまから「法然上人のうまれかわりのようなひと」とほめられるほどの念佛者になり蓮如さまのおともをしておみのりを広く伝えました。

堅田にいた法住は、主に湖西地方の紺屋などの商業者や、湖上陸上の独占運輸業者を統括する勢力の持ち主でしたが、早くから蓮如さまに教化され、その地方に沢山の道場をひらいて真宗発展のお手伝いをしました。そればかりではなく比叡山などからの念佛弾圧に対して、財力・武力をもつてたたかったのも、このお同行たちでした。

「おおさな声でお返事を」  
「呼ばれたら、大きな声でお返事を」  
「呼べば一年生になつた孫が、先生から習つてきました最初のお約束です。」

この親鸞聖人の願いは、蓮如上人によつて、しっかりと受け継がれ展開されていました。

生きの母上のせつない(親鸞聖人のご一流を再興したまえ)の願いのなかでの求道勉学の結果、得られたおみのりのよろこびを、とくに如來さまのおめあてである人々に、同じ座にすわり、簡潔平易なことばで、伝えようと努力工夫をつづけられました。

その結果、早くから、近畿・北陸を中心、あらたな社会的勢力をもち始めていた百姓・豪士・豪商などの間に、お念佛の教えが、急速に伝わつてきました。

今年、一年生になつた孫が、先生から習つてきました最初のお約束です。

「呼ばれたら、大きな声で、お返事を」

思ひ出してみると、いま中学二年のおねえちゃんも、確かに一年生入学の時に、同じことを習つて来て、それから当分のあいだは、そのことをまがりなりにも実践していました。親も、子供につれて、当時当分のあいだはなんとか実践していたように思います。

「おおさな声でお返事を」  
「南無阿弥陀仏と、大きな声で、お返事をしましよう。  
こないだ、わたしたちのお寺にご巡教くださつた、ご門主さまも、「これが蓮如上人さまのおすすめでした」とおっしゃっていました。

## 九月のことよみ

十日	水島元三氏宅法事
十一日	中央実習カリキュラム打合
一二日	同じ
三日	宮嶋盛義氏宅法事
四日	出石組門徒総代研修会

一七日	横山庄義氏宅忌明法要
一八日	運動本部第一専門部会
一九日	吉祥寺巍典大和尚一周忌法要
二〇日	玉日会定例法座
二一 日	高福寺二十五・七回忌法要
二二日	彼岸中日
二三日	斎藤幹夫氏宅法事
二四日	勝林寺彼岸山会法
二五日	西女(みのり聞く会合)
二六日	蓮如上人五百回遠忌懇志上納
二七日	出石組念佛奉仕
二八日	出石町小人
二九日	出石組念佛奉仕
三〇日	同じ

七月二十四日	出石町小人
八月二十二日	出石町櫻見
坪木千代治様	横山光義様
葬儀	
八月二十二日	

「教信」というお坊さん



この月の始に、出石からご院家さんに  
お越し願つて、加古川のこの家で、父の  
三十三回忌を勤めました。

その折りのご法話のなかに、平安時代  
のはじめこの「加古川」にいた「教信」  
（おしえ信すると書きますが）、「教  
信」という、お坊さんが住んでいたとい  
うことを、初めて聞きました。

なんでも「教信」というかたは、若い  
ころ奈良の興福寺という学問の寺で、今  
で言う心理学（唯識）と論理学（因明）を究  
め、その第一人者にまでなったのですが  
、お淨土まいりがしたくて、阿弥陀如來  
さまのお淨土を捜し求め、地位も名譽も  
捨てて、この加古川の西野口という所に  
やつて来たのだそうです。

お坊さんの衣を捨てて、妻を娶り、子を  
もうけ、百姓仕事のかたわら、加古川を  
人や荷物を渡す卑しい「川渡し」の仕事を  
したのだそうです。  
そんな暮らしをしながら教信さまは、  
いつも「南無阿弥陀仏」のお念佛  
を唱え続けていましたから、このあたり  
の人々は、教信さまのことを阿弥陀丸と  
よんでもいたということです。  
貞觀七年という年に「葬式などするな  
れ」といつて念佛を唱え唱え亡くなつた  
ということです。

この教信さまを、300年もあるとの親  
鸞さまが「わたしの生涯もあの教信さま  
のとおりだよ」とお慕いになつていたと  
いふことです。  
仏法も、お淨土も、如来様も、浮世離

れた清淨なお坊さんのくらしに、ある  
のではない。學問をしてわかるものでは  
ない。仏法や淨土や如来様というのは、  
かえつて、なまじつか坊さんぶつた人や  
、学者ぶつた人達から逃げておしまいに  
なる。

愚禿と名のつて、わざわざ「悪人」と  
世間からさげすまれ、ひとびとから「石  
瓦。つぶて」と足蹴にされる人達と、  
人間の苦惱を共にしながら暮らしていく  
された親鸞様であつたからこそ、眞実の如  
き。偶然な幸運を、しみじみ思はせていた  
「わたしの生涯も教信さまのとおりだよ  
」と親鸞様が常々おっしゃつていた教信  
さまのおられたこの加古川に、あさまし  
い日暮ながら、今住まわせてもらつてい  
だいています。



峰の日を  
おおうきりはれ  
ただすみゆきて  
にしへいけどの  
(西池)  
名声りんりん  
(勝林)  
(深音)  
(希里)  
(匡)  
(美幸)

「たとえば日光の雲霧に覆われるれども  
雲霧のしたあきらかにして闇なきがごとし」  
(正子)

「されこうべのままで捨てておいてく  
れ」といつて念佛を唱え唱え亡くなつた  
といふことです。

この教信さまを、300年もあるとの親  
鸞さまが「わたしの生涯もあの教信さま  
のとおりだよ」とお慕いになつていたと  
いふことです。

仏法も、お淨土も、如来様も、浮世離



「しども研修会  
ありがとう

☆お寺の庭に無数の蝉の抜け穴があつて、木  
にも抜け殻がいっぱいいていた。やっぱり  
ほとけさまのところでは、蝉でもなんでもく  
らしよかつたにちがいないとおもいました。  
わたしらも、知らないものどしでしたが、  
いちにちとつてもたのしい充実したときをす  
ごせました。ほとけさまのおかげと思いまし  
た。らしいねんは、中学校だけど、来年だけ  
は行きたいと思っています。よろしく。(H  
子)

☆きみょうむりょうときほうとをならいま  
した。せんそうのときみんなかわにはまつて  
しました。せんそうがいやになりました。  
そのはなしもきました。(みね)

☆ごいんげさん昨日はあります。おばち  
やんごちそう作つてくれてありがとうございます。  
かり・フルーツおいしかったヨ。おおきなあ  
みださまの前でおかみました。ビデオのモニ  
タナジョンズと「こどもたちよ」をみせて  
しかつたです。おりだす。(藤山麻衣子)  
☆このあいだの子供会はとてもおもしろかつ  
たです。一番おもしろかったのはブタ追いゲ  
ームでした。ビデオもおもしろかったし、力

レーもあいしかつたです。お寺のみなさんど  
うもありがとうございました。(森友理絵)  
☆おでらにいかせてもらつてありがとうございます。  
ぼくはぶうるがあつたのでごごか  
らしかさんかできなくてさんねんでした。  
びでおももしろかったです。(いしだかず  
き)

☆子ども会おせわになりました。とても樂  
しかつたけど、習字に帰つていたので「きり  
ちゃん」の初参式がみられなくてざんねんで  
した。こんどカールちゃんみて驚きました。  
前はもつと小さかったのに大きくなつてい  
たのでびっくりしました。また来年も行きま  
すのでおねがいします。(岩上こう太)

☆子ども会おせわになりました。わたしは  
カールちゃんがみんなに大きいのに赤ちゃん  
だと信じられませんでした。キリちゃんがう  
まれてミネくんはもうお兄ちゃんになつ  
たのです。楽しいおもいでがいっぱいでき  
ました。また来年もいきますのでおねがいし  
ます。(岩上りえ)



7月17日 納骨参拝研修旅行(大谷本廟)